



ボランティア懇親会を開催しました

穏やかな春の陽射しいっぱいのお雛祭りの日、3月3日（土）に『ボランティア懇親会』を開催しました。日頃より大変お世話になっている多くのボランティアの方々に御礼を申し上げるとともに、活動をさらにより良くするための御意見を伺う会で、この日は12名の皆様がお忙しい中を御出席くださいました。



まずは院長はじめ関係職員より御礼の挨拶を申し上げました。当院の前身である柿生病院時代より、20年以上継続してくださっているボランティアの方もおいでになり、こうして長年御活動いただいていることに、改めて心より感謝の気持ちをお伝えしました。



ボランティアの皆様お一人ずつのお話の中では、『ロビーコンサートでは、サポートボランティアをしながら自分も音楽を楽しんでいる』『自分の勉強として、いろいろなボランティアに参加している』『退職後、福祉に関心を持ち、ヘルパー2級も取得した』『患者様が喜ばれる限り、活動を続けたい』などのお声がありました。

地元片平に40年以上お住まいの方からは、『地域の高齢化が進んでいるので、住民にとって頼りになる病院であってほしいと思う』とのお励ましもいただき、有難い限りでした。

続いて、私共スタッフからボランティアの皆様へのサプライズ！レク活動によく御参加くださっている患者様の御家族様お二方に御協力をお願いし、ボランティアの皆様へのメッセージをビデオレターの形でお預かりしました。他にも病棟スタッフからの感謝の言葉を収録し、早速上映。ボランティアの皆様は、御家族様とスタッフの生の声をお届けすることが出来、御覧になって涙ぐまれる方もいらっしゃいました。



現在、患者様の入院期間は平均で約2年、長い方は10年以上になります。ボランティア活動が、面会時の楽しみになっている御家族様もいらっしゃるほど、大事な存在です。私共スタッフは、御家族様の患者様への大切な想いを伺って、これまで以上に心を込めた対応をさせていただきたいと思いを熱くいたしました。

同時に、人のためになることを目的とするだけでなく、御自身が楽しみながら活動なさっているという多くのボランティアの方々のお姿に、大変心強く、嬉しく、感激したひと時でした。皆様方がやりがいを持って、楽しく活動を続けていただける、そういう場になるようこれからも努めて参りたいと思っております。



お陰様で盛会にて終了し、大変充実した時間となりました！
当院で御活動中のすべてのボランティアの皆様、お力添えくださいました御家族様方に、関係職員一同、心より厚く御礼申し上げます。

♪ これからもどうぞよろしく願いいたします ♪